

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
文化芸術活動の 推進	文化芸術施設の環境整備	1	文化施設指定管理事業
		2	文化会館施設・設備改修事業
		3	文化会館リニューアル事業
		4	美術館空調設備改修事業
		5	美術館維持管理事業

事務事業名		文化会館施設・設備改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり					担当係	文化立市推進係		担当課長名	上岡幸宏
	施策	1 文化芸術活動の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 文化芸術施設の環境整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2216	一般	2	1	17	文化会館施設・設備改修事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成27年度～31年度		根拠法令 条例等	佐野市文化施設条例・同 条例施行規則		実施方法		直営	
	事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし		事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
	事業区分		市長市政公約		該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
文化会館は、昭和54年6月に開館して以来、施設・設備の老朽化が目立つようになってきたため、建設後20年を経過した時点で「施設・設備改修計画」による年次計画で、改修工事を実施してきた。 開館後、約40年が経過し、引き続き文化会館が安心・安全な施設として、施設の機能を維持していくために、老朽化した部分の更新が必要である。	文化会館のトイレの洋式化を行った。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
当該年度の改修工事数	件	0	1	1	0	0

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

文化会館 市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	113,667	112,909
	大小ホール客席数	席	1,522	1,522	1,522	1,522	1,522
	延床面積	m ²	7,540	7,540	7,540	7,540	7,540

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

文化会館で不具合のある施設・設備を年次計画により改修工事を実施し、市民が安全・安心に文化会館を利用できるようにする。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	文化会館利用者数	人	168,393	165,307	146,200	165,330	165,360
	文化会館利用日数	件	1,721	1,599	1,373	1,610	1,620

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

文化・芸術活動団体の発表の場として、施設の維持保全を行うとともに、利用者の満足度を高める。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	施設利用者の満足度が高い割合	%		84.6	82.8	71.0	72.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			25,490		37,258					
	事業費計(A)	千円	0		25,490		37,258		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					業務委託料	1,998	工事請負費	37,258				
					工事請負費	23,492						
正規職員従事人数	人	2		1								
のべ業務時間	時間	246		130								
人件費計(B)	千円	0		940		496		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0		26,430		37,754		0		0		

事務事業名	文化会館施設・設備改修事業	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課	担当係	文化立市推進係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和54年に開館して以来、年数の経過とともに施設の老朽化、設備の劣化が見られるため、平成13年度より、年次計画により優先度の高いものから順次改修工事を実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	総務省から「公共施設等総合管理計画の策定」についての指針が出された。長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減し、平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実施することが必要となってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成26年12月議会において、「エレベーターの設置やトイレの洋式化、今後文化会館で行いたい改修工事等は何か」といった質問が出されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 改修工事を行うことにより、市民に安全で快適な状況のもとで施設を利用してもらうとともに、文化・芸術活動の場を提供するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 年々施設の老朽化が進んでいるため、改修工事を行うことにより、施設を良好な状態に維持する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 文化会館の改修工事を実施することで、市民の方に安全・安心に施設を利用してもらう。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 改修工事は、優先度の高い順に実施している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 施設の老朽化対策、設備の更新のための費用であり、削減する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 単なる修繕費用ではなく、大規模な改修工事であるため、市が費用負担するべきである。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 改修する箇所がなくなるか、新たに施設を建て直したとき。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	

事務事業名		文化会館リニューアル事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり					担当係	文化立市推進係		担当課長名	上岡幸宏
	施策	1 文化芸術活動の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 文化芸術施設的环境整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2214	一般	2	1	18	文化会館リニューアル事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	R1年度～R6年度		根拠法令 条例等	佐野市文化施設条例					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営			
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		4-②-2			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
文化会館は、文化芸術の拠点となる施設であるが、昭和54年に開館39年が経過し、老朽化が顕著である。 市民が安心安全に利用できる状態にするためには、ホール天井、舞台、空調、照明、音響設備等、多数の設備更新が欠かせないことから、前期基本計画期間に調査と設計を、中期基本計画期間に工事の実施を行う。 工事実施の手法については、まず、PFIを活用した民間主導による改修を検討する。					政策調整課所管の重要政策課題調査研究事業に流用し、文化会館の改修に係るPFI等導入検討調査を行った。						
活動指標					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
民間導入可能性調査					件				1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市民					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
佐野市民					人	120,018	119,348	118,450	117,706	112,909	
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
市民が安全安心に文化会館を利用できるようにする。					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
文化会館利用者数					人			146,200	165,330	165,360	
文化会館利用日数					件			1,373	1,610	1,620	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
文化・芸術活動団体の発表の場として、施設の維持保全を行うとともに、利用者の満足度を高める。					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
施設利用者の満足度が高い割合					%			82.8	71.0	72.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円					0		14,000			
	事業費計(A)	千円	0		0		0		14,000		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
									13 委託料	14,000		
	正規職員従事人数	人					1		1		2	
のべ業務時間	時間					350		884		1,500		
人件費計(B)	千円	0		0		1,335		3,372		5,723		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0		0		1,335		17,372		5,723		

事務事業名	文化会館リニューアル事業	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課	担当係	文化立市推進係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	文化会館は、開館40年が経過し、老朽化が顕著であり、大規模改修が必要である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	文化会館は、佐野市で最大のホールを有する施設であり、市政におけるその重要性は変わらないものと考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	保守点検の結果からも、実際に運用している指定管理者からも、老朽化の指摘は多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	文化芸術の振興に文化会館の安全・安心な環境整備は直結している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	本市の財産であり、市が行わなければならないことは明白である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	多くの市民に完全・安心に利用してもらえる施設であり続けるため、対象と意図は変えようがない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？		理由・改善案	現状、未着手であり、成果は計れない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
		類似事務事業名		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	「文化会館の改修に係るPFI等導入検討調査」によると、PFIを活用し民間活力を利用した場合、事業費の削減が可能と推測されている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者負担は施設の利用料金というかたちで行われている。しかし、リニューアル後には、料金改定を検討する必要がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	文化会館の大規模改修が完了すれば、終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
<p>※ 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)</p>	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		文化施設指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課	
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり						担当係	文化立市推進係	担当課長名	上岡幸宏		
	施策	1 文化芸術活動の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 文化芸術施設的环境整備						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	2213	一般	2	1	18	文化施設指定管理事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成19年度～ 年度		根拠法令 条例等	文化施設条例・同条例施行規則							
						実施方法	一部委託						
						事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)						
						リーディングプロジェクト	該当なし						
						市長市政公約	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
文化・芸術や各種催しなど、市民や各種団体が快適かつ安全に施設を利用できるよう、指定管理制度を導入し、事業の運営と施設維持管理を行う。 平成21年度までは、葛生あくとプラザのみ指定管理となっていたが、平成22年度からは、文化会館と葛生あくとプラザを併せて「文化施設」とし、両館ともに指定管理を行っている。			市民サービスの向上と経費縮減を図るため、指定管理者により、事業運営と施設の維持管理を行った。 指定管理者:(株)ケイミックスパブリックビジネス 指定期間:平成30年度～令和4年度 市民参加事業や舞台芸術鑑賞事業、佐野市出身芸能家支援事業等、全12事業(文化会館10事業、あくとプラザ2事業、平成30年度実績)を実施した。							
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)			
文化施設利用者数		人	203,449	202,289	179,073	202,100	202,150			
文化施設利用件数		件	1,446	1,567	1,386	1,585	1,595			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
施設利用者(市民・各種団体) 施設(ホール、ギャラリー等)			対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
			文化会館の利用総日数		数	1,721	1,599	1,373	1,610	1,620
			あくとプラザの総利用日数		数	545	540	521	550	555
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
・施設を良好な状態で利用できるように維持管理を行う。 ・利用者に施設を安全で快適な状況のもとで利用してもらう。			成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
			文化会館を利用した件数		件	1,046	1,135	973	1,145	1,150
			あくとプラザを利用した件数		件	400	432	413	440	445
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
文化・芸術活動団体の発表の場として、施設の維持保全を行うとともに、利用者の満足度を高める。			上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
			施設利用者の満足度が高い割合		%		84.6	85.7	71.0	72.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円								1		
	一般財源	千円	121,614		113,052		111,938		114,426		115,397	
	事業費計(A)	千円	121,614		113,052		111,938		114,427		115,397	
投入量	事業費の内訳	千円	項目		項目		項目		項目		項目	
			事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費		
	需用費	7,140	需用費	2,551	需用費	2,581	需用費	5,381	需用費	5,227		
	役務費	155	役務費	200	役務費	158	役務費	206	役務費	160		
	委託料	113,987	委託料	107,204	委託料	107,485	委託料	108,381	委託料	108,509		
	備品購入費	332	工事請負費	1,917	工事請負費	704	備品購入費	459	備品購入費	1,500		
			備品購入費	1,179	備品購入費	1,010						
	正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2	
	のべ業務時間	時間	480		492		480		800		800	
	人件費計(B)	千円	1,832		1,880		1,831		3,052		3,052	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	123,446		114,932		113,769		117,479		118,449	

事務事業名	文化施設指定管理事業	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課	担当係	文化立市推進係
-------	------------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	文化会館は昭和54年に、あくとプラザは平成10年に開館した。市民サービスの向上と経費縮減を図るため、平成22年度から両施設を併せて「文化施設」とし、指定管理者による管理を始めた(あくとプラザは平成19年から指定管理を実施)。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	指定管理者制度が浸透し、多くの自治体が各種の分野で制度を導入するようになった。一方で、これまで施設の管理・運営を行ってきた外郭団体は、民間企業との競争により団体の存続にまで影響を受けることとなった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	指定管理になり、地元出身芸能家の支援事業を開催するほか、有名アーティストのコンサートを開催するなど、自主事業の幅が広がった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	市全体での使用料や手数料の見直しが必要となるため、その改定時期に合わせて取り組む予定である。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	指定管理による施設の維持管理を行うことにより、文化・芸術活動の場をより良い状況のもとで利用者に提供することができ、個人や団体等の文化・芸術活動の支援につながり、目的は政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	ノウハウを持った民間企業に指定管理を委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	施設を適正に維持管理することで、利用者に、施設を快適かつ安全に利用していただくことになるので、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	指定管理により、自主事業の内容が豊富になり、大物芸能家のコンサートも開催するようになった。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	平成22年度から文化施設として、指定管理者に一体的管理を委託しているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	佐野市全体で受益者負担の見直しを検討する余地がある。見直す際には、施設の利用状況地域性等も考慮する必要がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	市民の文化・芸術活動の場として必要なため、廃止・休止をすることはできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市全体で、施設の使用料や手数料を見直す中で、文化施設についても見直しを検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		吉澤記念美術館施設整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり					担当係	吉澤記念美術館		担当課長名	上岡幸宏
	施策	1 文化芸術活動の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 文化芸術施設的环境整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
		一般	10	4	7	吉澤記念美術館施設整備事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	1年度～2年度		根拠法令等	・博物館法 ・佐野市美術館条例					
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		一部委託			
							事業分類		施設等整備事業		
							リーディングプロジェクト		該当		
							市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
吉澤記念美術館は、平成14年に開館。施設、設備等の整備、修繕を適宜おこなってきたが、開館から15年を経過し、施設の計画的な整備が必要となってきている。 特に空調設備については、美術品の展示、保管の観点から24時間稼働を続けており、通常施設の空調設備に比べて、使用年数の約3倍は消耗しているといえる。また、設備の経年化に伴い、修繕に必要な部品の調達が難しくなり、故障した際の対応ができなくなることから、空調設備の交換が必要となる。 そのため空調機器の交換工事を行うことで、今後の施設運営、維持管理に対応できる。		美術館空調設備本体の交換工事を施工するための設計業務委託を行った。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
業務委託件数		回	17	17	17		
修繕件数		件	9	10	9		
開館日数		日	255	256	162		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び市外からの来館者 ・美術館敷地 ・美術館施設設備 ・収蔵作品(所蔵品+寄託品) 	対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	美術館入館者数		人		8,127	3,353		
	敷地面積		m		4,845	4,845		
	収蔵作品数		点		1,476	1,476		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	不満及び要望・希望件数/来館者数		%		0.1	0.1		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
施設利用者の満足度が高い割合		%		70.0	92.9		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円					1,847					
	一般財源	千円					0					
	事業費計(A)	千円	0		0		1,847		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							設計委託料	1,847	工事請負費			
人件費	正規職員従事人数	人					2					
	のべ業務時間	時間					10					
	人件費計(B)	千円	0		0		38		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0		0		1,885		0		0	

事務事業名	吉澤記念美術館施設整備事業	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課	担当係	吉澤記念美術館
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	美術館開館後15年が経過したことに伴い、空調設備の不具合が発生した際、修繕部品の調達が難しくなることから、今後の美術館運営、施設維持管理の継続のために開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年の開館から15年が経過し、施設の維持管理は重要になっている。特に空調機器は24時間稼働でもあり、通常使用に比べて、使用年数の3倍は消耗しているといえる。機器が古くなることから、交換部品の調達ができなくなる可能性がでてくる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	空調設備保守委託業者からは、設備の機器は老朽化のため不具合が生じることが多くなり、機器の型が古いため、今後修繕部品の調達が難しいという指摘があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	施設設備の維持管理及び展示環境の整備は、来館者に良好な状態での文化・芸術にふれる機会の提供につながっていることから、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市が所有し直接管理する施設であり、民間にゆだねられない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	古くなった空調設備を交換することで、施設の環境を良好な状態にすることができ、美術品の保管状態をよくすることができる。また、十分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図ることができるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	環境整備に伴い、入館者の満足度を高めることにより、文化・芸術に触れる機会の充実がはかれる。実施にあたっては、交換工事に伴い、美術館を閉館しなければならない期間がでてくることから、展示会の開催時期との調整をしなければならない。また、設備の交換の際、空調設備の使用ができなくなる期間が発生するため、美術品の保存の観点から、温度、湿度等の環境が整った時期に工期を調整する必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は入札による設計委託料、工事請負費のため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	展示会入館者からは入館料を徴収しており正当である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	空調設備の交換工事が完了することにより終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									

事務事業名		美術館維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化立市推進課
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり					担当係	吉澤記念美術館	担当課長名	上岡幸宏	
	施策	1 文化芸術活動の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 文化芸術施設的环境整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14961	一般	10	4	7	美術館維持管理事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H 14 年度～ 年度		根拠法令等	博物館法 佐野市立美術館条例					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		一部委託			
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
美術館施設の維持管理及び展示環境の整備 ・維持管理に係る光熱水費・消耗品購入 ・施設設備等の修繕 ・作品への保険加入 ・美術館ボランティアに関すること ・業務委託(受付・図録販売等) ・清掃業務委託(日常清掃・池・床ワックス) ・保守点検業務委託(消防・電気工作物・空調機器等) ・機械警備委託		・施設設備の維持管理にかかる消耗品及び執務参考書の購入 ・所蔵作品盗難保険・受託者賠償責任保険への加入 ・美術館ボランティアに対する学習会の実施 ・受付・清掃・保守・警備等年間業務委託 ・空調室外機修理、美術館棟エアコン修理、深井戸ポンプ等修理						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		業務委託件数	件	17	20	17		
		修繕件数	件	9	5	9		
		開館日数	日	255	251	162		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・市民及び市外からの来館者 ・美術館敷地 ・美術館施設設備 ・収蔵作品(所蔵品+寄託品)		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		美術館等入館者数	人	9,643	14,106	6,242		
		敷地面積	人	4,854	4,854	4,854		
		収蔵作品数	人	1,476	1,476	1,476		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

充分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図る。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		不満及び要望・希望件数/来館者数	%	0.1	0.1	0.1		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

充分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図る。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		吉澤記念美術館入館者数	人	5,158	8,127	3,353		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	3,173		3,547		2,471					
	一般財源	千円	23,992		24,341		20,592					
	事業費計(A)	千円	27,165		27,888		23,063		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			光熱水費	2,214	光熱水費	5,493	光熱水費	6,743				
			修繕料	345	修繕料	739	修繕料	985				
			損害保険料	465	損害保険料	465	損害保険料	464				
			広告料	430	広告料	542	広告料	466				
			業務委託料	4,410	業務委託料	3,676	業務委託料	3,626				
清掃委託料			790	清掃委託料	828	清掃委託料	649					
保守委託料			1,974	保守委託料	1,944	保守委託料	1,966					
その他	16,537	その他	14,196	その他	8,164							
人件費	正規職員従事人数	人	3		3		3					
	のべ業務時間	時間	1,080		1,080		1,080					
	人件費計(B)	千円	4,121		4,127		4,120		0		0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	31,286		32,015		27,183		0		0	

事務事業名	美術館維持管理事業	担当部	教育総務部	担当課	文化立市推進課	担当係	吉澤記念美術館
-------	-----------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成14年6月の美術館開館に伴い、入館者が安全で快適に鑑賞できる環境を目指すため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年の開館から15年が経過し、施設の維持管理は重要になっている。特に空調機器は24時間稼働でもあり、通常使用に比べて、使用年数の3倍は消耗しているといえる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	来館者からは、静かで落ち着いた環境でよいという意見が多く聞かれる。植栽や芝・池の美観維持のため努力されたいという意見も寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	施設設備の維持管理及び展示環境の整備は、来館者に良好な状態での文化・芸術にふれる機会の提供につながっていることから、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	委託可能な業務についてはすべて委託しているが、美術品の管理については市が責任をもって行うことが妥当であり、業務委託や指定管理者制度になじまない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	施設環境整備・警備及び各種保守点検等は、専門業者への業務委託で効率的に実施しており、事故等もなく、入館者に安全で快適な美術鑑賞の場を提供できている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	限られた予算の中で、光熱水費や通信運搬費等のできる限りの削減に努めている。これ以上の削減は、美術館の良好な環境保持や入館者のニーズに沿った施設環境の維持に支障が出るおそれがある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	今後一層施設設備の経年劣化による修繕費等の増加が見込まれるが、既に最小限の事業費となっており、削減の余地はない。また、正職員4名・臨時嘱託員1名で運営しており展示室の看視はボランティアに依頼している状況である。これ以上の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	入館者は市内外に及んでおり、観覧料を徴収することは適正である。また、平成24年度から大学生以下と身体障がい者等の観覧料を無料とし、観覧の機会を広げている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 美術館が存在する限り、施設設備の維持管理は必要である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					